

## 甲府支援学校向け視線入力モニター固定装置製作

【Challenge &amp; Humanity】 起業家精神の育成と技術者としての人間教育…知的財産と発想力

経緯：2017年末に山梨県立甲府支援学校から本校に視線入力モニター固定装置の製作依頼がありました。甲府支援学校では、視線によって入力できるソフトを使い、児童生徒により良い学習環境を整える取組を行っております。そのモニターを固定する台が大変高価であり台数の確保が難しいため、本校に製作依頼がありました。

本校、機械技術部員が引き受け、実際の使われ方を見せていただき、より使いやすい形状、機能を考え製作にあたりました。形状、部品材料、作り方の検討を2018年初から行い、試作品を春休みにかけ製作し、4月に試作品を見ていただき、了承の上、3台、量産しました。



以下の通り、引渡式が行われましたのでみなさまにご紹介いたします。

引渡日：平成30年9月11日（火） 10:30～11:30

場所：山梨県立甲府支援学校 小学部コモンスペース

参加者：甲府支援学校児生10名 甲府工業高校機械技術部員2名



甲府支援学校の児生および先生方は大変喜んでいただき、校長先生はじめ皆様から感謝のお言葉をいただきました。また、その場でモニター固定装置を使い、視線入力が行われました。本校からは、機械技術部2名が参加し、装置説明や製作にあたり苦勞した箇所や工夫した箇所等を説明しました。

【機械技術部 中村 颯太 部長より】(テレビ取材コメント)

『今回SPHの活動も兼ね、部員皆で考え、実際の使われ方を理解してものづくりする難しさ、楽しさを学び、このような機会を与えていただいたことに感謝しています』

【機械技術部 顧問より】

生徒自ら考え、苦勞した末の成果でありたいへん嬉しく、今後の成長を期待します。

